

研修等 報告書

平成 30 年 12 月 20 日

三田市議会議長 厚地弘行 様

私は、研修等報告書を下記のとおり提出します。

会 派 名	代表者	印
	議員名	小杉崇浩
参加者氏名	小杉崇浩	
講演会等研修名	質問力・政策提言力アップ講座	
研修事項	1. 東日本大震災から学ぶ防災・減災 2. 防災・減災関連質問のポイント	
日 時	平成 30 年 11 月 19 日 (月曜日) 10:00~16:30	
場 所	リファレンス駅東ビル	
所 見	<p>講師は、内閣府職員から陸前高田市副市長を務められ、現在は立命館大学の教授という経歴を持ち、国と地方自治体の両方に関わった経験をお持ちでした。実際に、副市長として震災直後の壊滅的な被害を被った陸前高田市の復興の指揮をとっておられ、現場の壮絶な状況を具体的に伝えてくださいました。</p> <p>午前の方は、ご自身が陸前高田市の副市長になった経緯と陸前高田市の被災状況の説明、副市長としての経験、災害時の議会の役割についてでした。副市長になられた経緯は、内閣府の職員として東京で働いていた時に東日本大震災が発災。休日にボランティアとして陸前高田市の支援に入った際に、奥様を亡くされながらも懸命に職務にあたっている戸羽太市長に感銘を受け、市長から「陸前高田市のために力を貸してくれないか」と頼まれたのに断りきれなかった、とのことでした。かなり悩まれたとのことでしたが、この思い切った決断ができた背景には、未曾有の被害を生んだ震災に対する絶対に負けないという覚悟があったのではないかと思います。</p> <p>陸前高田市の被災状況は、人口 24,246 人のうち、死者（行方不明者含む）1,771 人で、犠牲者率は 7%を超え、被災地域で最大であったそうです。また、市役所職員 295 人のうち、68 人が亡くなられて</p>	

	<p>おり、犠牲者率は25%にもなったそうです。建物被害は、3,159戸が全壊し、市役所、公民館、図書館、体育館、小中学校等も全壊したとのことでした。市役所職員は最後まで避難誘導等に従事していた結果、多くの逃げ遅れた人が犠牲になったとのことでした。最後まで市民のために働かれ、犠牲になられた市役所職員の皆様には頭が下がるとともに、危機状況の中、公務員の取るべき行動については、今後しっかりと議論していく必要があると思いました。</p> <p>副市長の立場としての役割は、市政全体の目配り（5部2局1委）と、担当部署がなかったり、決まっていなかったりする案件の推進であったとのこと。具体的には、市長の掲げるビジョン「ノーマライゼーションという言葉のいらぬまちづくり」に向けた施策の推進、企業・海外からの支援案件のマッチング、観光（復興ツーリズム）戦略、フェイスブックや講演を通しての情報発信等であるとのことでした。職員の1/4が亡くなられたという危機的状況の中で、県の応援があったとはいえ、少ない人数で平常時よりも莫大な業務をこなす体制を維持することは容易ではなかったと思いました。特に、心理的なサポートやモチベーションを維持するための仕組みには苦労したのではないかと思います。</p> <p>非常事態の議会としては、地域と行政を橋渡しする役割が求められているのではないかとのことでした。その際に、議員が個々に行政に情報提供や指示をしても混乱するので、議会として情報をまとめ、優先順位を明確にしていく必要があるのではないかとのことでした。そのためルールをあらかじめ作成しておくことが必要であるとのことでした。三田市議会でも災害時のマニュアルがあるので、しっかりと備えておきたいと思いました。</p> <p>午後の研修の内容は、防災・減災関連質問のポイントということで、質問例を提示しての説明をしていただきました。具体的には、1. 避難の重要性、避難場所の安全性について、2. 避難指示のタイミングについて、3. 地域防災計画について、4. 防災体制（市職員の配置）についての4点についてでした。どれも実際に陸前高田市での経験を基にしており、核心を突く内容でした。特に、避難の重要性、避難場所の安全性については、避難したかどうかで生死が分かれた例が多数あったり、避難したにも関わらず被害にあってしまった例があったりしており、その状況に応じた対応の重要性を考えさせられました。</p>
添付資料	<ul style="list-style-type: none"> ・パンフレット ・当日会場写真

6 添付書類（講演会内容のパンフレット等）

交付対象議員は会派名、議員名を記入してください。（代表者名、参加者氏名は不要）

午前の部

※本資料の私見については個人に属する見解です

【復興・防災特別講座】 東日本大震災から学ぶ防災・減災



久保田 崇

立命館大学公共政策大学院 公務研究科教授
(元陸前高田市副市長/元内閣府参事官補佐)

t-kubota@fc.ritsumei.ac.jp

午後の部

※本資料の私見については個人に属する見解です

【復興・防災特別講座】 防災・減災関連質問のポイント



久保田 崇

立命館大学公共政策大学院 公務研究科教授
(元陸前高田市副市長/元内閣府参事官補佐)

t-kubota@fc.ritsumei.ac.jp